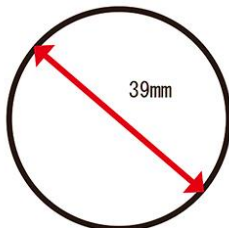


## 家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか？ 0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。



### 小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

#### リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

#### キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

#### 浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

#### ベランダ



台などに乗って手すりを越える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。

まだまだ残暑が厳しい日が続いていますが、今後涼しくなって外遊びの時間が増えてくると、小さなけがも多くなります。9月9日は「救急の日」です。この機会におうちの救急用品の中身を見直したり、応急処置の方法も学んでおきましょう。

## 転んで、落ちて…… 頭を打った ときのケア

### すぐ病院に！



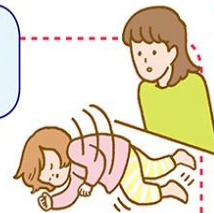
#### 一つでも当てはまる場合

- 繰り返し吐く
- 意識がもうろうとして、呼びかけても反応しない
- 手足の動きがいつもとちがう、左右差がある
- 目の瞳孔の大きさが左右でちがう
- 打ったところが陥没している、出血がひどい

赤ちゃんや子どもは転んだり落ちたりして頭を打つことがよくあります。そのときに怖いのが、頭蓋骨内でじわじわと出血して、時間差で症状が出ること。頭を打ったら、注意深く様子を見てあげましょう。

左の項目にあてはまらないときは次の点を守って、数日間は注意して様子を見ましょう。

- 当日はお風呂に入らず、静かに過ごさせる
  - 頭蓋内で出血していた場合、入浴して血行がよくなることで症状が進みます。
  - 症状が出てきたらすぐに受診する
  - 夜寝ているときの様子もチェックする
- 睡眠中に意識障害を起こす可能性もあるので、寝返りを打つか、声をかけたら反応するかなどを見ます。



- 少しずつ顔色が悪くなる
- 吐き気が出る、吐く
- 手足の動きがおかしい、ビクビクする
- 意識を失う、呼びかけても起きない

### 9月の保健行事

9月4日(月)	5・4歳児身体測定
9月5日(火)	3歳児身体測定
9月6日(水)	2歳児身体測定
9月7日(金)	1歳児身体測定
9月11日(月)	0歳児身体測定
9月12日(火)	0歳児健診

